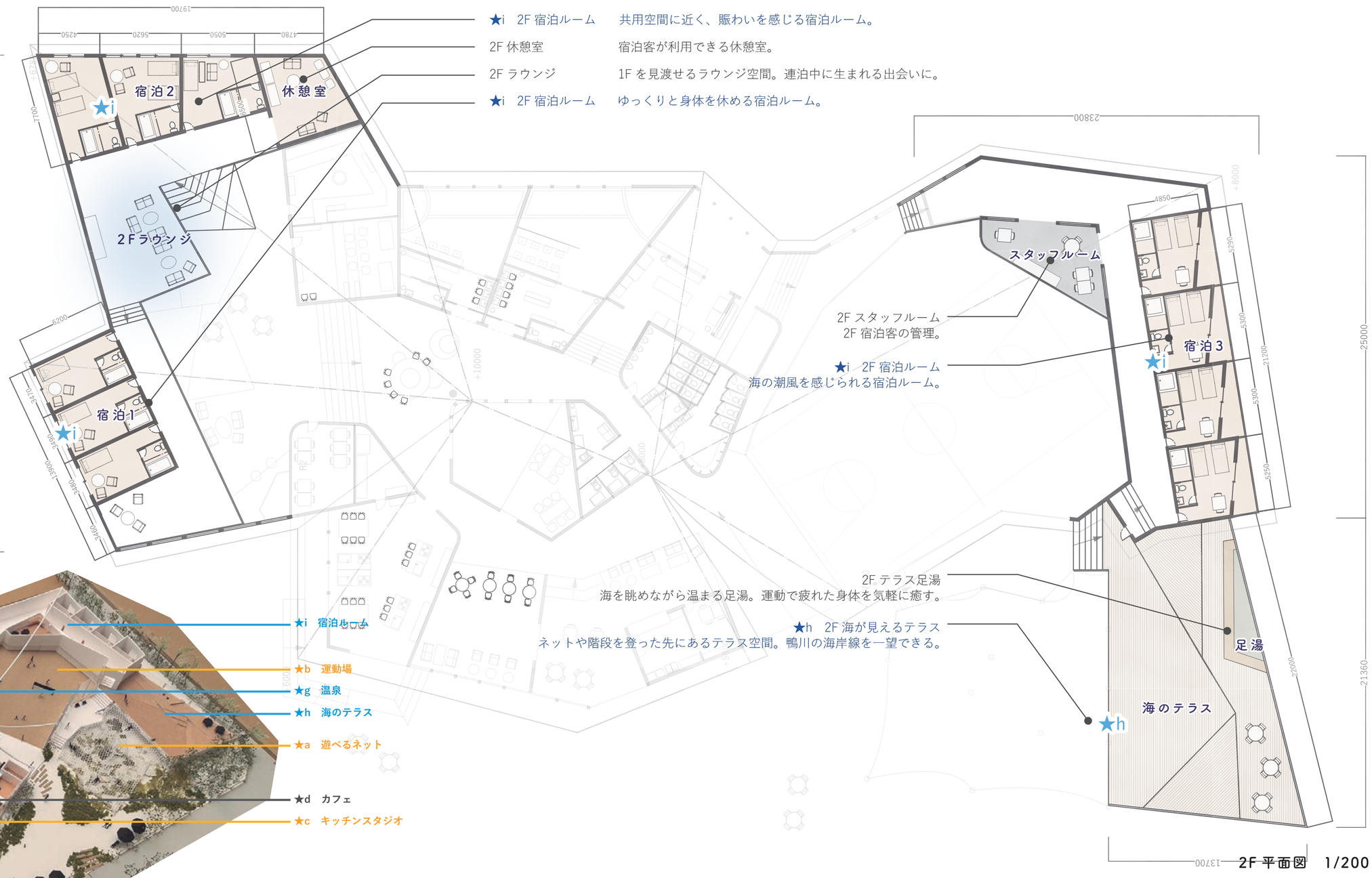
★i　2F 宿泊ルーム　　共用空間に近く、賑わいを感じる宿泊ルーム。

2F 休憩室　　宿泊客が利用できる休憩室。

2F ラウンジ　　1F を見渡せるラウンジ空間。連泊中に生まれる出会いに。

★i　2F 宿泊ルーム　　ゆっくりと身体を休める宿泊ルーム。



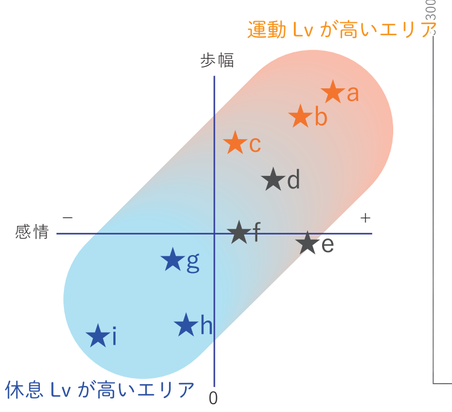
2F スタッフルーム
2F 宿泊客の管理。

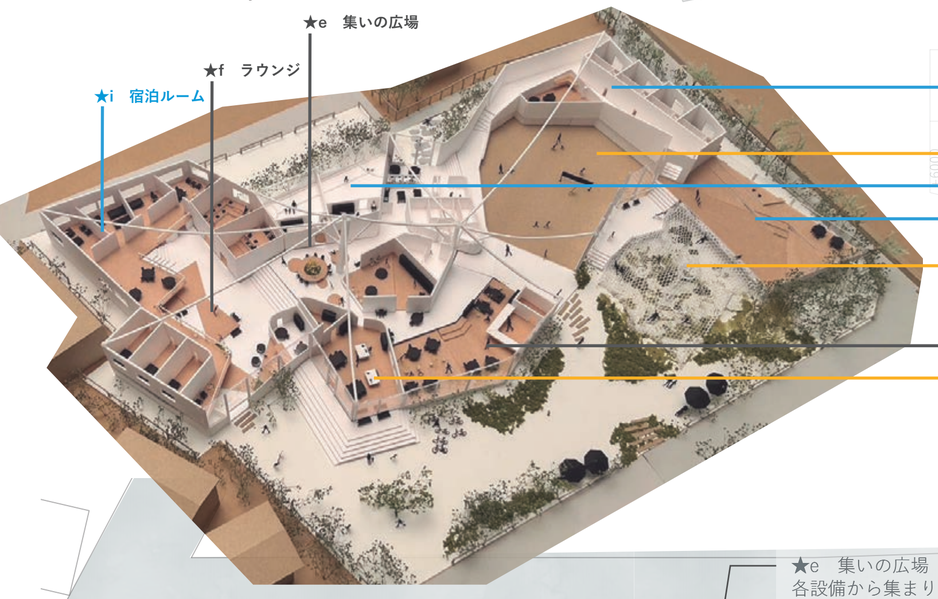
★i　2F 宿泊ルーム
海の潮風を感じられる宿泊ルーム。

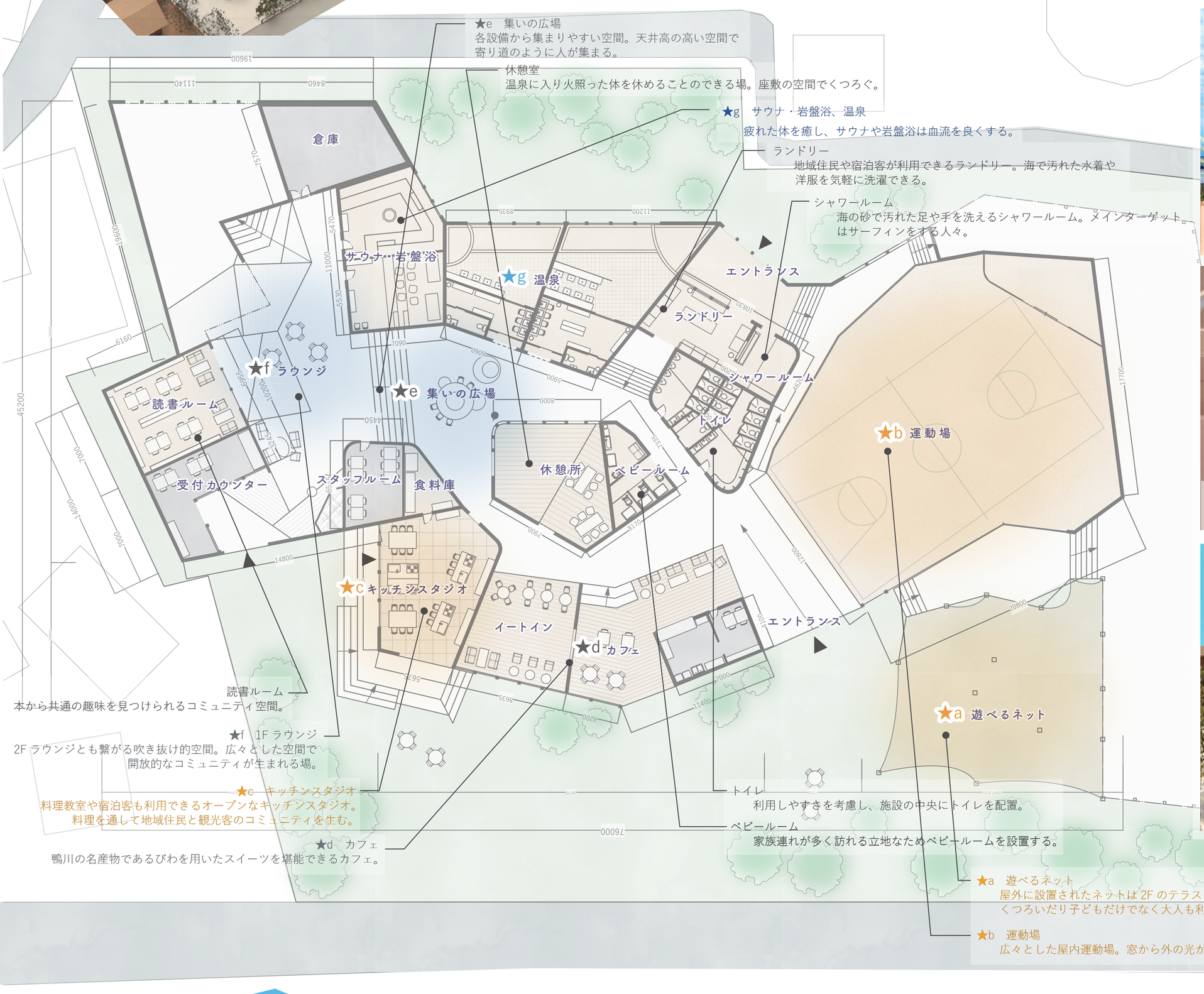
2F テラス足湯
海を眺めながら温まる足湯。運動で疲れた身体を気軽に癒す。

★h　2F 海が見えるテラス
ネットや階段を登った先にあるテラス空間。鴨川の海岸線を一望できる。

2F 平面図　1/200







★e　集いの広場
各設備から集まりやすい空間。天井高の高い空間で寄り道のように人が集まる。

休憩室
温泉に入り火照った体を休めることのできる場。座敷の空間でくつろぐ。

★g　サウナ・岩盤浴、温泉
疲れた体を癒し、サウナや岩盤浴は血流を良くする。

ランドリー
地域住民や宿泊客が利用できるランドリー。海で汚れた水着や洋服を気軽に洗濯できる。

シャワールーム
海の砂で汚れた足や手を洗えるシャワールーム。メインターゲットはサーフィンをする人々。

読書ルーム
本から共通の趣味を見つけられるコミュニティ空間。

★f　1F ラウンジ
2F ラウンジとも繋がる吹き抜け的空間。広々とした空間で開放的なコミュニティが生まれる場。

★c　キッチンスタジオ
料理教室や宿泊客も利用できるオープンなキッチンスタジオ。料理を通して地域住民と観光客のコミュニティを生む。

★d　カフェ
鴨川の名産物であるびわを用いたスイーツを堪能できるカフェ。

トイレ
利用しやすさを考慮し、施設の中央にトイレを配置。

ベビールーム
家族連れが多く訪れる立地なためベビールームを設置する。

★a　遊べるネット
屋外に設置されたネットは 2F のテラスに繋がる。登ったりくつろいだり子どもだけでなく大人も利用してほしい設備。

★b　運動場
広々とした屋内運動場。窓から外の光が入り、明るい空間に。

1F 平面図　1/200

2F テラスから眺めるオーシャンビュー

ネットを登った先に海を一望できる足湯。
デザインされたテラスは階段や斜面を設け、歩いていても楽しい空間に。

コミュニティの場となる集いの広場

それぞれの空間を繋ぐ通路にあり、高い天井高の開放的な空間。立ち寄り、集い、コミュニティを育む。観光客、地元民、子ども、大人、色々な人との出会いを通して心を豊かにする空間。

人が立ち寄るカフェとキッチンスタジオ

開放的なカフェとキッチンスタジオは地域住民とのコミュニティを育む場になる。カーブした屋根に誘われ、人々が集う空間。駐車場に近い場所に面し、観光客が立ち寄りたくなるエントランス。

歩いてカモガワ

施設内を巡り、「ワクワク」を共有する。
そこで生まれた新たなコミュニティが街に広がっていく。

駒沢女子大学　住空間デザイン学類
22010377　松本　奈緒美